

漢詩

『春望』 杜甫

国破れて 山河在り

城春にして 草木深し

時に感じては 花にも涙を濺ぎ

別れを恨みては 鳥にも心を驚かす

烽火 三月に連なり

家書 万金に抵たる

白頭 搔けば更に短く

渾て簪に勝えざらんと欲す

\*唐の杜甫（七一二〜七七〇）による五言律詩。

『絶句』  
杜甫

江碧にして 鳥逾々白く  
こうみどり とりいよいよしろ

山青くして 花燃えんと欲す  
やまあお はなも ほっ

今春 看々又過ぐ  
こんしゆん みすみすまたす

何れの日か 是れ帰年ならん  
いず ひ こ きねん

\*五言絶句。  
ごごんぜっく

【参考資料】

『声に出してよむ漢詩の名作50』 莊魯迅／著 (平凡社)  
『中國詩人選集 9 杜甫 上』 (岩波書店)